

## フリオ・テジェス

サッカーを通して観る日本・アメリカ・メキシコの文化と社会

1. こんにちは。私は、フリオ・テジェスと申します。本日は、サッカーを通して観る日本・アメリカ・メキシコの文化と社会について発表します。
2. こちらは概要です。
3. 研究の重要性です。私は幼い頃から、サッカーを練習していて、なぜサッカーがそんな人気になったか知りたいと思いました。更に、留学した時から、サッカーと社会の影響に興味があり、日本人のサッカーとメキシコ人のサッカーに対する考え方が違うと思いました。この研究を通して、3つの国の文化が人々の考え方にどのように影響を与えているかどうかを調査したいと思いました。更に、サッカーについて大学生の意識についても知りたいと思ったのがきっかけです。
4. こちらは研究質問です。一、サッカーはどのように3か国の若者に影響を与えているのか、二、サッカーの人気にはどのような要因があるのか、またそれは3か国間でどのように違うのか、の以上です。
5. これが研究背景です。

6. サッカーの歴史は長く、イギリスが発祥地（はっしょうち）です。そこから、日本やメキシコそしてアメリカに広がりました。日本で最初にサッカーが正式（せいしき）に紹介されたのは1965年です。日本サッカーリーグ（JSL）が創設（そうせつ）されました。しかし、第二次世界大戦（だいにじせかいたいせん）の後でJSLは消え、三十年後新たにJ-リーグが始まりました。
- メキシコでサッカーの起源（きげん）は、1902年に遡ります（さかのぼります）。しかし、二年前新しい形式（けいしき）になりました。現代のリーグはリーガMXという名称です。最後に、1884年アメリカフットボール協会が創設され、MLSが1996年に始まりました。それは、アメリカのプロサッカーのリーグです。
7. 次に、サッカーと教育についてお話します。研究背景を通して、いろいろな興味深い意見を見つけました。例えば、メキシコの子選手が「この暴力的な時代に、スポーツは人生で成功（せいこ）するために子供や若者に夢をあたえている」と言いました。彼女の意見はメキシコの社会の意見を反映していると思われます。アメリカでは、子供たちにスポーツを通して成長（せいちょう）してもらうために、政府と色々なスポンサーが奨学金を寄付

(きふ) しています。しかし、その奨学金を受け取ることは難しいと思われま

8. 次に、サッカーと社会について少しお話します。サッカーはそれぞれの国の社会を反映しているともいえ、サッカー場でも、人種差別や暴力やギャンブルなどの社会問題があります。メキシコの新聞は、暴力について「サッカーフィールドを建設 (けんせつ) するとプロモーターが約束した。やっと平和が来る。ギャングの若者は銃弾 (じゅうだん) の代わりにボールを使うようになる。」と書きました。アメリカにも、暴力がありますが、アメリカ人は「暴力は、私達の社会でも、スタジアムでも、絶対に認められない」と言いました。日本のスタジアムで事件が起こった後で、Jリーグのチェアマンが『スタジアムと社会はつながっている。差別は絶対に許さない (ゆるさない) というメッセージを社会に発信 (はっしん) するために、JリーグはF I F Aなどにならない、「ノートレランス (非寛容)」の精神 (せいしん) で臨 (のぞ) むべきだろう。』と強調しました。
9. 次に、スポーツを通してのナショナリズムと愛国心について話します。スポーツは、様々な方法で、個人・グループ・また、自分たちの国のアイデンティティを作るための、ツールです。特に、

サッカーはその力を持つと言えます。なぜならサッカーを通して、国際的なライバルが現（あらわ）れました。例えば、メキシコ対アメリカ、日本対韓国などです。

10. サッカーには様々な問題がありますが、良い点もあると思います。1895年最初の女子サッカーのゲームがイギリスで行われました。ある時代の新聞に「ボールを蹴る女子は見苦しくありません。特にスカートを脱いだ後で。」と書かれていました。最近、3つの国の代表はいろいろな成功を成し遂げた（なしとげた）といえます。特に、ワールドカップで優勝した（ゆうしょう）アメリカ代表と準優勝した日本の「なでしこジャパン」が有名です。しかし、女子選手は色々な面でいまだに苦勞（くろう）しています。これは性差別です。メキシコの女子選手が「私たちを見て、私たちを責めて（せめて）、人々はサッカーが男子のためのスポーツだと思っています」と言いました。

11. では、次に私が行ったアンケート調査の研究結果についてお話し致します。

12. この調査には65人の大学生に参加してもらいました。内訳（うちわけ）は日本人22人、アメリカ人20人、メキシコ人23人です。オンラインアンケートを通してデータを集めまし

た。それでは研究質問 1 についての結果を発表します。

- 1 3.        先ず、研究質問 1 に答えてもらう、いくつか質問を聞きま  
した。私は、サッカーがどのように 3 か国の若者に影響を与えて  
いるのか知りたいと思いました。
- 1 4.        まず、参加者がいつサッカーの練習を始めたのか、質問し  
ました。結果は、メキシコ人とアメリカ人は、非常に小さいうち  
にサッカーを始めますが、日本人は 5 歳以降（いこう）にサッカ  
ーを始めるようです。
- 1 5.        次に、参加者がサッカーをする理由を知りたいと思いま  
した。結果は非常に興味深いものでした、一般的に「楽しむために  
サッカーをする」、と答えた回答者が多かったですが、メキシコ人  
は「サッカーの興奮を経験したい」、アメリカ人は「良いエクササ  
イズ」として捉（とら）えています。
- 1 6.        人生の中で、親が子供に与える影響は大事です。そこで、  
「お父さんからサッカーを見る事／する事に影響を与えられまし  
たか。」という質問には、メキシコ人は父親に深く影響を与えられ  
たと答えましたが、日本人とアメリカ人はサッカーをするにあた  
って、あまり父親の影響はないようです。メキシコ人の私にとっ  
て、これは驚くべき結果ではありませんでした。

17. 参加者にプロサッカー選手になろうと思ったことがあるかを聞きました。驚いたことに、日本人は、プロになる事に興味がないように思われます。しかし、メキシコ人の43%とアメリカ人の35%はプロになることを考えた事があるという結果になりました。
18. その理由として、アンケート調査の結果に、大部分の回答者がサッカーのプロ選手になる主なモチベーションは「サッカーが好きだから」と答えました。
19. 今まで、3つの国の参加者の答えは似ていると思われましたが、「プロになるために一番必要な要素は何か」について調べた時、結果はずいぶんかわりました。「才能」と答えた人が多かったですが、メキシコ人は「コネ」と答えた人が最も多かったです。
20. 運動と勉強の両立（りょうりつ）、またはスポーツと教育の関係は非常に大切だと思います。参加者の意見を聞きたいと思いました。3つの国参加者の大部分が「両方重要だ」と答えました、つまりサッカーのキャリアも教育も大切です。
21. 次に、「あなたの国では、サッカー選手に奨学金を与えますか。」という質問をしました。残念ながら、3つの国の回答者は、奨学金のことについてほとんど又はあまりわかりません

でした。しかし、アメリカでは時々スポンサーや政府がサッカー選手に奨学金を与えていることがわかりました。

- 2 2.           3つの国の社会では、子供のために、色々なスポーツの活動があります。結果を通してわかったことは、アメリカとメキシコのほとんどの参加者は、地域が子供に「強く」サッカーや他のスポーツに参加することを奨励している、と答えました。一方（いっぽう）、日本の参加者は、「非常に同意する」を選ばず、代わりに「同意する」を選んだことはおもしろかったと思います。
- 2 3.           このグラフをご覧ください。メキシコ人の61%とアメリカ人の68%が、サッカーはドラッグなどに関わらない為のいい手段（しゅだん）だと答えましたが、日本人ではその意見に賛成したのはたったの14%でした。
- 2 4.           「あなたの国では、サッカーは下記のどのよう理解されていますか。」という質問には、いくつかの答えのオプションがありました。日本人にとってサッカーは「フェアプレー」であり、アメリカ人にとっては「自己満足」、そしてメキシコ人にとっては「ビジネス」を表す、という非常に違う結果が出ました。
- 2 5.           ここで研究質問1の結果をまとめたいと思います。先ず、

アメリカとメキシコでは、子供たちが早めにスポーツと接触するように励んでいます。更に、アメリカ人にとってサッカーは良い運動として考えられています。次に、メキシコ人がサッカーをやるきっかけは父親に深く影響を与えています。逆に、日本人とアメリカ人がサッカーを始めた理由は、自分自身のきょうみだとしています。プロ選手になるためには、「才能」が重要だというのが一般的な意見でしたが、メキシコ人の大部分にとって「コネ」が最も大切だということがわかりました。驚いたことに、日本人の参加者の大部分が、サッカーをドラックなどの悪いことに走らないために利用するとは思っていません。最後に、サッカーは日本ではフェアプレー、アメリカでは自己満足、メキシコではビジネスと位置づけられています。

26. 次は研究質問 2 の結果です。

27. 「国際チームと国内チームでは、どちらの方が好きですか。それはどうしてですか。」という質問には、国内のチームを選んだ人は、チームや選手に馴染みがあるからというのが理由でした。国際チームを選んだ人はプレイの高いレベルが好きなようです。

28. 大きなスポーツイベント時に、どこのチームを応援します



かという質問に、ワールドカップの間に、回答者の大部分は自分の国の代表を応援していることがわかりました。

29.           しかし、他人は他の国の代表を応援するかもしれないと思います、それについて調べたいと思いました。表に、3つの国の参加者を見ることが出来ます。ここでわかったことは、日本人は時々他の国の代表を応援しますが、アメリカ人はそのようなことはあまりしない、ということです。

30.           「どうしてその代表を応援しますか。」という質問には、国籍にもかかわらず、多くの人々が「ナショナリズム」や「愛国心」そして「誇り」について述べていました。

31.           日本人は、女子サッカー選手は男子サッカー選手ほど激しく戦えないとしています。一方メキシコ人のほとんどが、またアメリカ人の半数以上が「男子と同じくらい激しい」と同意しました。

32.           多くの人々が、サッカーは男子のためのスポーツだ、と考えています、しかし、メキシコ人とアメリカ人と特に日本人はスポーツとして、女子サッカーを含めることに反対しません。

33.           最近、あなたの国のサッカーのリーグでは、外国人選手がプレーしているか、という質問をしました。そこで、日本人参加

者は、Jリーグに多くの外国人がいると答え、アメリカ人やメキシコ人は、それぞれのリーグにあまり外国人がいないと認識しています。

34. 外国人選手の影響についてどう思いますか、と聞いたところ、日本人参加者の大部分は、外国人の影響に前向きな態度を示しています。しかし、メキシコ人やアメリカ人の参加者の意見が分割されました。
35. 現在の社会とサッカーでも、様々な問題がありますが、アメリカでは、人種差別が問題だと思われる一方で、メキシコでは暴力が問題のように見えます。日本では、両方の問題が時々あると答えました。
36. アメリカでは、性差別がよくある問題だと答え、一方で、メキシコではギャンブルが頻繁にある問題だとし、日本でも両方の問題が時々あるという結果がでました。
37. ここで研究質問2をまとめます。まず、ワールドカップの間に日本人やメキシコ人そしてアメリカ人は自分の国の代表を応援します。更に、サッカーをより発展させるために、女子サッカーが必要だと考えます。しかし、日本人は、男子サッカー選手の才能は、女子選手より高いと位置づけました。アメリカ人の参加

者の答えて、アメリカでは性差別がよくある問題であることに気づきました。外国人のことについて日本人参加者の大部分は、外国人の影響に前向きな態度を持っています。しかし、メキシコ人やアメリカ人の参加者の意見が分割されました。最後に、様々な問題点は、アメリカでは、人種差別が問題だと思われる一方で、メキシコでは暴力が問題のように見えました。そして日本では両方の問題が時々あるということがわかりました。

38.           これがこの研究の結論です。日本では子供の決定に親の影響が強くないように見えます。一方、メキシコは父親の影響が非常に強いと思われれます。更に、メキシコ社会で起こることはスポーツの世界に到達すると、メキシコの腐敗したシステムのせいで、多くの人々は才能が不十分だと思われ、代わりにコネを信じているようです。日本とアメリカではその問題を持っていないように見えます。

メキシコやアメリカでは、ドラッグが大問題なので、サッカーを解決法として考えているようです。最後に、「自己満足」は、アメリカの個人主義の考え方に基（もと）づいているかもしれません。日本社会の目標は、良い行動が全国に広まることなので、「フェアプレー」を選んだと思います。

4 2. 3つの国の参加者は、サッカーを通してナショナリズムや自分の国に誇りを持つ気持ちを経験すると思われます。女子の役割についても、女子サッカー選手の受け入れは、今までのプロセスのままあまりかわっていませんが。アメリカ人とメキシコ人は外国人の受け入れにより消極的なようです。また、サッカー協会と政府の努力にもかかわらず、人種差別や暴力や性差別及びギャンブルの問題は消すことが難しいようです。

4 3. 最後に、研究の限界点と将来の研究課題についてです。もちろん、この研究は大学生を対象にした研究でしたから、一般化するのは難しいです。しかし、今度は別の年齢層の人々にアンケートを参加し誘いたいと思います。

4 4. こちらは参考文献です。

4 5. 最後に、ご指導くださった先生方と支えてくださった家族や友達に感謝をいたします。真にありがとうございました